

事業概要説明シート

事務事業番号 30324

事務事業名	ごみ減量化啓発事業		
事業開始年度	昭和57年度～	担当部署	環境事業部減量業務室

根拠法令	決裁 (ごみ減量施策方針決裁:平成10年度～)
実施方法	■直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	□その他()
目的 (何のために)	家庭ごみ減量のための「スマートライフ」の普及・啓発を行うこと。またごみ減量講演会の開催及びごみ減量等のポスターの募集を通じて、ごみ問題についての関心と理解を深めてもらう。
対象 (誰・何を対象に)	市民

事業内容	<p>①ごみ減量講演会・シンポジウム 「スマートライフ」をテーマとして住みよいまちづくりを進めるための講演会を実施している。</p> <p>②各種啓発講座 駅前、店頭前、自治会、小学校、各種団体等において、「スマートライフ」の普及・啓発を講座を行なう。また、大阪府主催のごみ減量ポスターコンテストに参加している。</p>
類似事業	
事業の必要性	講演会、各種啓発講座は、ごみの減量化の向上、スマートライフを促進するために必要である。

コ ス ト	H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
	正職員	13.00人	105,482千円	13.00人	105,170千円	7.00人
再任用職員	0.80人	2,806千円	0.80人	2,760千円	0.00人	0千円
非常勤職員等		千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)	108,288千円		107,930千円		56,000千円	
直接経費(B)	580千円		803千円			
総事業費(A+B)	108,868千円		108,733千円		56,000千円	

財源内訳	H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
			千円		千円	
国庫支出金		千円		千円		千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担 (使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源	108,868千円		108,733千円		56,000千円	

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	ごみ減量講演会(報償金50)		50千円
			千円
			千円

事務事業名	ごみ減量化啓発事業		
事業開始年度	昭和57年度～	担当部署	環境事業部減量業務室

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① スマートライフ啓発人数	人	25,236	27,625	27,000
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費 / 啓発人数	円	2	2	2
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	より具体的に「スマートライフ」を向上させるために必要な知識と能力を得る学習活動（啓発活動）を提供する。今後も、ごみ減量化啓発を踏まえた講座内容の充実を図っていく。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	平成22年度、23年度は、総務・減量推進班であったが、グループの組み合わせ変更により、平成24年度より減量推進班が独立した。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	目標の実績割合が高いので今後も継続して取り組む。			
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・監査での指摘など、スマートライフの普及・啓発の推進に向けた取り組みが必要では ・市民への啓発を積極的に推進することで、より一層の効率化実現の可能性はあるのでは 				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	<p>スマートライフの普及の要である収集担当班による、啓発活動回数が前年度比で減少したが、啓発人数のトータルは微増している。今後は、収集担当班による市民啓発をより増やし、生涯学習課所管の「職員による出前塾」など、他部署の事業と連携し、より一層の効率化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度監査結果報告書指摘事項である、「スマートライフニュース」の市民周知については、本市ホームページリニューアル(平成24年2月28日)より「スマートライフニュース」のウェブ公開を実施し改善に至っている。 ・啓発事業における役割分担は、減量推進班が講演会ならびにシンポジウムについて担当し、収集担当班が駅前ならびに店頭前のキャンペーンを担当している。 			